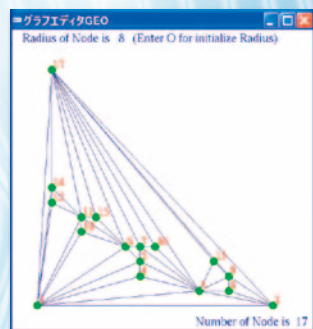


福島大学 共生システム理工学類
人間支援システム専攻

平成24年度研究交流会



人と環境にやさしい 新たなものづくりを 目指して



入場
無料

平成25年
3月9日(土)

9:50 ~ 15:10

福島グリーンパレス
孔雀の間

主催: 福島大学 共生システム理工学類
人間支援システム専攻

共催: 福島大学大学院共生システム理工学研究科
研究プロジェクト型実践教育推進センター

お問い合わせ先

福島大学共生システム理工学類
人間支援システム専攻 神長 裕朗

〒960-1296 福島市金谷川1番地 Phone: 024-548-8195
E-mail: kami@sss.fukushima-u.ac.jp
<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/>

プログラム	9:30~	受付・ポスター(教員研究、卒業研究)掲示
	9:50~	主催者挨拶
	10:00~	講演1 「原発事故後の福島のサウンドスケープに何を聞くか」 永幡 幸司 准教授
		概要：東京電力福島第一原子力発電所の事故の煽りを食い、福島のサウンドスケープ(私たちの聞く音の世界)は、事故前とは異なったものとなってしまった。この変化したサウンドスケープから、私たちは何を聞き取ることができるだろうか。
	10:40~	講演2 「OpenGLを用いたグラフ描画システムの開発」 三浦 一之 准教授
		概要：いくつかの点とそれらを結ぶ辺からなるグラフを、構造が理解しやすく、かつきれいに描画したい。そのために、各種の応用に対応した様々な描画アルゴリズムおよびそれらを計算機上で実行するグラフ描画ツールの研究が多数行われている。本発表では、OpenGLを用いたグラフ描画システムの開発の現状について報告する。
	11:20~	講演3 「生体信号から循環系指標を得るための信号処理とその応用」 田中 明 准教授
		概要：現在、生体信号は医療現場だけでなく、日々の生活の中での計測から健康管理やストレス計測などに応用する試みがされている。本研究では、生体の循環系を対象として、限られたセンサや計測条件において得られる信号から様々な生理情報を抽出するための信号処理方法とその応用について紹介する。
	12:00~	休憩
	13:00~	特別講演1 「機械システムの実用化制御技術」 講師：丸山 次人 氏((株)富士通研究所ITシステム研究所特任研究員)
		概要：ハードディスクドライブ(HDD)とディーゼルエンジンを取上げ、実用化制御技術と先行研究の制御技術について紹介する。HDDでは、現行の制御方式と位置精度の劣化要因を解説し、製造ばらつきを吸収する制御技術について言及する。エンジンでは、現行PID制御の課題を解説するとともに、実用化が推進されているモデルベース開発のコンセプトと開発手法について言及する。さらに、制御理論と実用化技術の関係について触れる。
	14:00~	特別講演2 「医療機関向けクラウド型画像・映像保管サービスの有用性と課題について」 講師：菅野 隆広 氏((株)東北オータス 医療システムグループ グループマネージャー)
		概要：医用画像・映像の記録/保管/再生/編集のワンストップサービスについて、クラウドコンピューティング技術を利用して行うサービスの独自性と有用性について、患者サービス、医療過誤、災害対策等の視点より説明する。また、製品開発上の技術的課題、市場性などについて報告する。
	15:00~	閉会挨拶

●主催：福島大学 共生システム理工学類
人間支援システム専攻

●共催：福島大学大学院共生システム理工学研究科
研究プロジェクト型実践教育推進センター

